

2002.6/15 香住シーカヤック

天候・・・曇り/晴れ

波高・・・1.5 m

場所・・・香住海岸

メンバー・加藤一雄、大塚賢一



山スキーシーズンも終わり、板をペダルに乗せ変えてMTB、ストックをパドルに握り変えてシーカヤックの季節がやってきた

今季初乗りとあって香住海岸にくりだした。矢田川の河口をドン詰まって三和海水浴場からの出艇である。海開きをしていない海水浴場はひっそりとしていて艇を出すには最高の場所である。

波高は1.5mといったところか、沖に漕ぎ出すにつれてうねりと三角波に艇もバランスが要求される。

ビデオカメラと水中カメラを持ってきているが、こんな波では撮るに撮れない、パドルを離せば沈しかねない。

日本海独特の切り立った岸壁、まるで北アルプスの小型のようである。不思議な柱状節理があったり、カヤックでしか入れない洞窟など不思議な岩ばかりである。



いたるところに洞窟がある



上陸場所で



潜ると魚の大群が

香住海岸を東に漕ぎ、大島の辺りにポツカリ浮かんでいる石油貯蔵タンク？がすぐそこに見える小さな岩浜に乗り上げる。早速にウエットスーツに全身をくるみスキндаイビングをする。波で打ち寄せられたのかそれとも海水温が高いのかもすごい数のクラゲがゆらゆらと泳いでいる。中には1mも触手を伸ばしているものがある、しかしウエットを着込んでいるのでなんら心配はないが、今年の夏の海水浴は注意が必要だろう。

少しも潜らないうちにアワビやサザエをちょうだいするが、大きなガシラやアブラメが目につくようにいるではないか！、しかし今日は自慢の土佐銛は置いてきているので仕留めることはできない。タコも2ハイ見つけで手で頭をわしづかみにしたが、8足で岩にへばりつかれてしまい根負けして結局逃がしてしまった。

加藤氏はサザエに目もくれずアワビねらいで6ヶも採っていた、しかし後で聞くとサザエは全

然見つからなかったと言っていた??。

初潜りなので1時間も潜らなかったが、昼食に刺身と壺焼きは贅沢な代物であった。

今日は18時からクロネコの仕事があるので早々に切り上げで帰路についた。

さあ、今夏も海に山に突入だ！



収穫



高山植物のような花乱れるところへ上陸



早速に壺焼きに興じる